

とちばにんじん  
(うこぎ科)

根茎は地中を横にはい、  
多くの節がある。茎の途中  
に5枚位の複葉が輪生する。  
花は淡黄緑色、花弁は5枚、  
果実は赤く熟す。根茎を薬  
草として利用する。チクセ  
ツニンジンともいう。

花期 6~8月

草たけ 40~60cm

生育地 山林の中



ねじバナ  
(らん科)

とちばにんじんの  
地下茎

らせん状にねじれて淡紅色の花をつけ  
る形からつけられた名前。

モチズリ、ネジリバナともいう。

花期 6~8月

草たけ 20~30cm

生育地 原野、土手、芝生地



くもきりそう  
(らん科)

茎の下部に2枚の大きな葉  
がつく。長い花茎の先につく淡  
緑色の花の形がクモの形に見える。

花期 6~8月 草たけ 20cm

生育地 林の下



ねじバナの花

くもきりそう



○根茎  
地中を横にはって、根  
のように見える茎。